

今回のご説明の概要（「流量減少の傾向がみられる沢」の重点的なモニタリングについて）

（1）はじめに

- ・ これまでに、国土交通省リニア中央新幹線静岡工区有識者会議（環境保全）では、沢の地形・水環境、生物の生息状況を踏まえ、沢の類型化を実施しました（8 類型に分類）。
- ・ そのうえで、より効果的なモニタリングとなるよう、重要種の生息・生育状況を踏まえ、各類型の中から重点的にモニタリングを実施する沢（重点的な沢）を抽出しています。
- ・ 同じ類型の中に、解析上、「流量減少が予測される沢」と「流量減少が予測されない沢」が含まれている場合には、重要種の生息・生育状況を踏まえ、それぞれから 1 沢、重点的な沢を選定しています。
- ・ 重点的な沢は、継続的に実施するモニタリングについて、その他の沢と比較し、モニタリング項目が多く、また頻度も高く実施することとしています。
- ・ こうした中、2024 年 4 月の第 12 回生物多様性専門部会において、「流量減少が予測されるその他の沢¹」については、景観に基づく生息場評価法による予測・評価や沢の上流域調査の結果を踏まえ、今後のモニタリング内容を改めて検討することとしていました。
- ・ 以上を踏まえ、表 1、黄色着色にて示す、「流量減少が予測されるその他の沢」のうち、2025 年秋季に沢の上流域調査を実施した沢 13 ジャガ沢、沢 14 流沢、沢 16 上スリバチ沢、沢 29 蛇沢について、上流域調査の結果を踏まえ、重点的な沢と同等のモニタリングを実施する必要があるかどうかを検討しました。

¹ 国土交通省リニア中央新幹線静岡工区有識者会議において整理された、上流域モデルにより流量減少が予測される沢のうち重点的な沢と指定されていない沢

表1 沢一覧

類型※1	沢	流量減少予測の有無※2	重点的な沢※3	上流域調査を実施した沢※4
類型1	内無沢			
	魚無沢		○	
	悪沢	○	○	○
	北俣・中俣合流部付近			○
類型2	上岳沢			
	西小石沢		○	○
	柳沢			
	徳右衛門沢			
	西俣川（柳島付近）			
類型3	大崩			
	車屋沢		○	○
類型4	赤石沢		○	
	大井川（榎島付近）			
類型5	大尻沢北の沢			
	大尻沢			○
	下木賊北の沢			
	虎杖沢		○	
	蛇沢南の沢			
類型6	瀬戸沢		○	
	柁小屋沢			
	蛇抜沢	○	○	○
類型7	曲輪沢		○	
	ジャガ沢	○		○
	流沢	○		○
	二軒小屋南西の沢	○		
	上スリバチ沢	○		○
	スリバチ沢	○	○	○
	燕沢			
	蛇沢南東の沢			
	破風石沢			
	下木賊沢			
	上千枚沢			
	下千枚沢			
	蛇沢	○		○
類型8	奥西河内川		○	

※1：国土交通省リニア中央新幹線有識者会議（環境保全）において実施した、沢の地形・水環境、生物の生息状況を踏まえ実施した類型化の結果

※2：国土交通省リニア中央新幹線有識者会議（環境保全）において、大井川上流域の沢の影響分析という目的のもと、新たに作成したGETFLOWSによる解析モデル（上流域モデル）により、流量減少が予測される沢

※3：国土交通省リニア中央新幹線有識者会議（環境保全）において、各類型の中から抽出した重点的にモニタリングを実施する沢。動植物の生息・生育状況調査で確認された重要種の種数等に着目して抽出した。

※4：2025年秋季に沢の上流域において動植物の生息・生育状況調査を実施した沢

表2 上流域の結果を踏まえた動植物の生息・生育状況の整理結果